



# 記念樹

発行者  
医療法人 大分記念病院

大分市羽屋9組の5  
TEL 097 - 543 - 5005



ホームページアドレス <http://oitamh.jp>

2018年7月15日 Vol.123

## シビリアンコントロール (文民統制、英: civilian control of the military)

今年になって、シビリアンコントロールという言葉をよく耳にします。民主主義制度における政治と軍部との関係の基本方針であり、軍事に対する政治の優先を意味するものです。

主権者である国民が、選挙により選出された国民の代表を通じて、軍事に対して最終的・判断・決定権を持つという国家安全保障政策における民主主義の基本原則とされます。

シビリアンコントロール(文民統制)の考えは17世紀から18世紀のイギリスにおいて初めて登場したといわれます。

当時の国王の軍事力の乱用や独裁政治における軍部の暴走を阻止するために考えられたのですが、先の第二次世界大戦ではドイツのヒトラー、イタリアのムッソリーニそしてソビエトのスターリンは何れも文民でした。しかし国家の暴走を止めることは出来ませんでした。そして世界は破滅し、九千万人の命が失われました。全体主義国家では一般国民の政治への関与が大きく制限されるなど「軍事に対する主権者国民の優位」が損なわれ文民統制は機能しなかったのです。

アメリカは合衆国憲法で大統領は軍隊の最高指揮官であると定めてあり、大統領が軍隊を統率し、軍隊の維持及び宣戦布告は議会の

の権限であると定めてあり、第二次世界大戦の折も文民統制が機能していたとされています。

日本は大日本帝国憲法で陸海軍の統帥権は天皇にあり、内閣と議会は天皇の輔弼と協賛のための機関で文民統制の機能はなく、大東亜戦争(アジア太平洋戦争)開戦時の首相は東条英機陸軍大将でありました。

日本に文民統制が導入されたのは戦後、議会民主主義国家として日本国憲法が発効することで初めて実現したもので、その文民の意味するところは「一般市民、軍人以外の人」具体的には「一般市民の代表である政治家」ということになっています。

当時日本にはcivilianに対応する言葉がなかったため、日本国憲法が制定される時に作られた造語ということですから分かり難いのも道理です。

さて、昨今問題になっている国会からの照会に対する防衛省の自衛隊海外派兵の日記をないものにしたたり、焼却したとかと虚偽の答弁を繰り返す、国政調査権の発動などにより続々と日記や記録が見つかるという凄まじい有様。国会軽視、国民無視は文民統制という憲法無視の行為であり、民主国家ではあってはならないことです。

国会で虚偽がまかり通り不正が正されないとなれば、今後の国政はどうなるでしょう。日本に議会民主主義が定着していないというところを国際社会に広報しているようなものです。

戦後、当時の日本占領軍総司令官ダグラス・マッカーサー元帥が、1951年5月6日アメリカ上院議会で証言した「日本人は科学、芸術、神学、文化において12才の少年だ」という言葉を思い起こします。



# マラソンと水分補給

近年、空前のマラソンブームとも言われ、全国各地で多くのマラソン大会が行われております。市民ランナーも急増し、現在日本のランニング人口は1000万人以上と言われています。健康のため、やせるためにランニングを始める人が多いと思いますが、真夏でも試合前のボクサーのように通気性の悪い素材のランニングウェアを着て走っている人も見かけられ、熱中症が心配になることがあります。そして、マラソン大会でゴール後に倒れたり、救急車で搬送されたりする人がいるのも事実です。実際、2009年の東京マラソンでものまねタレントの松村邦洋さんが、15キロ地点の手前で倒れて一時心肺停止状態となったことがあります。

マラソンでは事前の準備、レース中及びレース後の体調管理が大変重要ですが、特に水分補給についてはランニングをしている人なら誰もがその重要性を実感していると思います。2010年11月にランニング



学会から「マラソン中の適切な水分補給について」の見解が発表されています。これによると水分摂取が過剰となり、いわゆる水中毒に至る危険性についての懸念が記されています。昔は運動中の水分補給を制限する風潮がありました。熱中症の危険性が叫ばれるようになり、1970年代からはむしろ積極的に補給することが推奨され、のどが渇く前に多く飲むように勧められました。しかし、飲みすぎると水中毒（低ナトリウム血症）となり、重篤な場合は死に至ることもあります。しかし、水分摂取量の目安となる発汗量を数字で示すのは難しく、個人差もあります。日頃の練習で自分に合った水分摂取量を把握しておく必要があります。なお、レース中あるいはトレーニング中の水分補給は、必ずしも発汗相当量である必要

はなく、多少不足しても構いません。その不足分、すなわち脱水率（体液減少量：走行前の体重×100）が2%以内であれば給水量は適切であったと考えられ、3%を超えると不足していたと考えられます。目安としては、1時間当たり400〜800mlの水分補給ですが、体格や気温、レースペースなどにより大きく異なってくるので注意してください。また、発汗量が多くなると水分とともに塩分も失いますので、飲料は水ではなくスポーツドリンクを選び、フルマラソンのような発汗量が多い状況では、塩飴などで塩分補給も必要です。スポーツドリンクは5〜15℃に冷えたものが吸収されやすく、体温が上昇しているときには気が良いですが、胃腸への負担は大きくなりますので、胃腸の弱い方は冷たい飲料は避けた方が良いでしょう。

フルマラソンを4時間切り（サブ4）で走るランナーは、男性の場合は上位30%あたり、女性の場合は上位8%あたりに位置しますので、男性の場合はサブ4達成で立派なマラソ

ン中級者と言えます。また、女性の場合は上位10%に入るタイムのため、サブ4でも十分上級者と言えます。

皆さん、それぞれの目標に向かって体調管理をしてください。

（今村朋之）



## ふれあい看護の日

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの生誕を記念して1990年より5月12日が看護の日と制定されています。今年も全国各地で多彩なイベントが開催されました。

当院では、5月18日と25日(金)に大分南、大分豊府、大分舞鶴、大分西、大分高校の高校生17名を迎え「ふれあい看護体験」実習が行われました。看護体験を終えてのみなさんの感想です。

- ・患者さんが喜ぶことを第一に考えて行動できるのが何よりも楽しそうだと思います、本気で看護師を目指そうと思うようになりました。
- ・患者さんの手と足を洗いました。一生懸命洗うと患者さんが「気持ちいい」と笑ってくれてとても嬉しかったです。
- ・いろいろな分野で患者さんを支える人たちがいてチームになって一緒に仕事をしていることが分かりました。
- ・この看護体験で患者さんの笑顔が見れたこと「ありがとう」と言ってくれたことが一番嬉しかったです。とても幸せな気持ちになりました。

看護師だけでなく臨床検査技師や理学療法士、薬剤師など他職種のスタッフの話を聞いたり、患者さんと直接触れ合ったことで、看護の魅力を知るきっかけになれば嬉しく思います。高校生のみなさんお疲れ様でした。



5月18日(金)  
参加の皆さん



5月25日(金)参加の皆さん

## 糖尿病教室

6月16日(土)に当院の多目的ホールで2018年度第1回目の糖尿病教室が開催されました。

今回は「足を見ましょう～糖尿病からくる足のトラブルを知っていますか?」と「熱中症対策」をテーマに、患者さんとそのご家族を含めた20名の参加者が熱心に勉強しました。

豊田名誉理事長のあいさつからスタートし、看護師による糖尿病と足のトラブルについての話では、大きな足の模型を使いながら日頃の足の観察の重要性や爪の切り方などの分かりやすい説明がありました。

栄養士による熱中症対策の話では、スポーツドリンクに含まれる糖分が多い事やのどが渇く前の水分補給が必要である事、そして自宅でもできる経口補水液の作り方の説明がありました。

勉強の後は恒例の運動と調理実習です。リハビリスタッフが、タオルを使った簡単なストレッチ運動を



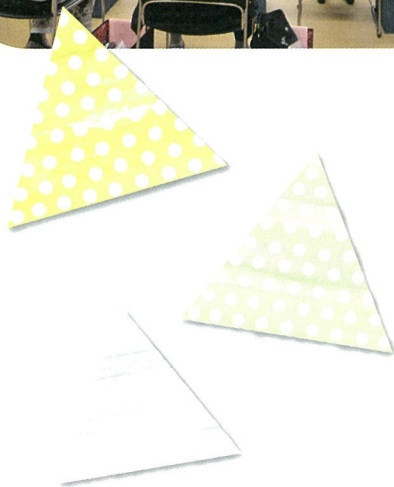
紹介し、参加者からは「これなら家で出来そう」という声が聞かれました。調理実習では栄養士と調理士が、夏らしいジンジャーエールゼリーの作り方を実演調理しました。

最後は全員で手作りの昼食を食べ、楽しく情報交換を行いました。

糖尿病教室は年3回行っています。毎回大変好評で参加希望も多くなっています。

**今年度は10月20日(土)に「年末年始・イベント食の注意点」、2019年3月16日(土)に「低血糖とお薬について」をテーマに開催予定です。**

参加希望の方はお早めにお問い合わせください。スタッフ一同お待ちしております。



## 新入職員 歓迎 玉入れ大会



6月9日(土)19時から毎年恒例の新入職員歓迎会が南大分体育館で開催されました。今年も昨年に引き続き玉入れ大会を行いました。今年は職員が約220名、子供たちが約80名と沢山の参加があり、大変盛り上がった大会となりました。

玉入れ大会は今年で8回目となり6チーム総当たりで合計15試合行いました。各チームとも作戦を立てながら試合に臨んでおり、今回の大会では4チームの勝ち数が3勝で並び最終的には入れた玉数で勝敗を決めるという大接戦となりました。

また、前半戦と後半戦の間に子供たちによるエキシビジョンマッチを男の子チームと女の子チームに分かれて行いました。子供たちが一生懸命玉を投げる姿は会場を大変賑わせてくれました。

激戦の結果、高田先生、今村先生、内藤先生率いる

「3B病棟・事務課・図書室・情報システム課・施設管理課」の合同チームが見事優勝に輝きました。

結果発表の後、新入職員の自己紹介がありました。皆さん元気よく挨拶しており、最後まで楽しむことができました。また、今大会も負傷者もなく無事に会を終えることができました。

参加された皆さん、お疲れ様でした。普段の仕事の中でもこのチームワークを活かしてお互い支えあっていきましょう。



## 大分記念病院におけるBSCの効果

当院は2006年の病院機能評価の認定を契機にまた来たる2025年の社会保障問題を見据えて、病院の中期計画や部門の目標管理をよりシステムティックに行うことが必要になりました。

BSCの考え方を取り入れた手法の中期計画等への導入は、当法人の高田名誉理事長がカナダの視察で日本医療バランス・スコアカード研究学会会長の高橋淑郎先生とお知り合いになったことがきっかけでした。

BSCの考え方を取り入れることにより取り組みをストーリーのように描くことができ、わかりやすく成果が上がったと考えています。

第一次中期計画(2008年度～2010年度)では「病棟機能の強化とIT化の充実を図り、医療の質の向上と経営基盤を強化した病院」をテーマに病棟編成を行い、DPC対象病院の認定を受けました。また、電子カルテを導入し、情報の共有を図るとともに透析室の増改修を行ったので医療の質が向上し収支改善につながりました。

第二次中期計画(2011年度～2015年度)では「がん医療を中心とした急性期の医療の強化と介護サービスの提

供に取り組むことにより、医療と介護がシームレスに連携した病院」をテーマに無菌室を設置した病棟の増築や有料老人ホームの開設を行い医療と介護が提供できる法人に成長しました。

第三次中期計画(2016年度～2020年度)では「更なる法人の発展に向けた整備と在宅医療の推進」をテーマに2016年に救急告示病院の認定、2017年には血液研修施設に加え、呼吸器認定施設と内科学会教育関連病院の認定を受け、急性期医療の強化を進めています。

また、回復期医療の強化として地域包括ケア病床への転換、在宅医療については訪問診療、訪問看護の推進を図っています。

当法人の将来構想である「急性期から回復期、透析医療、介護まで最善のサービスを一体的に行える地域でトップクラスの法人」の実現を目指し、更なるBSCの活用を進めていきたいと考えています。(総務部長 麻山)

★去る6月29日に当院定例研修会にて高橋淑郎先生がご講演くださいました。10月15日発行の次号記念樹124号にそのご講演内容の抄録を掲載いたします。お楽しみに。



## 作りま専科

## とうもろこし豆腐

材料 プリン型7~8個分

	とうもろこし	1本
A	豆乳	500cc
	水	50cc
	粉寒天	2g
	みりん	小さじ1
	塩	1つまみ
B	醤油	大さじ1
	みりん	大さじ1
	わさび	少々

## 作り方

- ① とうもろこしは皮とひげを除いてラップで包み、電子レンジで約4分かける。粗熱を取り、実を包丁で削る。
- ② 鍋に①とAを入れ、ヘラで混ぜながら中火でしっかり煮たてる。
- ③ プリン型や四角い型などを水で濡らし、②を注ぎ入れる。粗熱を取って、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④ ③を器に返し、Bを合わせて適量かける。好みでわさびを添える。

☆ そのままだと、とうもろこしの食感が楽しめる豆腐になりますが、②の後にミキサーにかけて滑らかになるまで攪拌し、濾すとつるんとしたのど越しになります。

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。暑い日々が続きますが熱中症は大丈夫でしょうか。こまめに水分を補い、外出する時だけでなく、部屋にいる時、更には寝ている時にも扇風機やエアコンで室温、湿度を調整するなどして予防してください。

さて、今回の巻頭言はメディアなどでも時折耳にする「シビリアンコントロール」についてです。言葉自体は聞いたことあるけれど、本来の意味は意外とよくわからないという方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。巻頭言では、その言葉の意味を解説するとともに、報道でも取り沙汰された防衛相におけるイラク日報問題を取り上げています。言葉の意味がわかったうえで改めてこの問題について理解し考えたいものです。

何かと気忙しい毎日ですがふと立ち止まり、自分がわからないことを調べたり、向き合ってみたりすることで、今までこうだと思って見てきたものの見方が変わったり、新しい見方が生まれたりして、自分の世界が格段に広がるような思いがけない瞬間に出会えるのかもしれない。(図書室 河野)

## 新入職員紹介

5月、6月に入社した新入職員4名をご紹介します。どうぞよろしくお願いいたします。



村里 弘子  
(医療事務課)

早く仕事を覚え、何事も笑顔で丁寧な対応を心がけます。よろしくお願ひ致します。



浅田 貴子  
(栄養科)

患者さん、利用者の方々に喜んでいただけるような食事を心を込めて作ります。



吉川 唯  
(診療情報管理室)

1日でも早く業務を覚え、少しでも役立てるよう勉強します。



野村 実穂  
(森のコーラス 介護支援専門員)

利用者の方々が安心して生活を送れるよう、また信頼できるマネージャーとなれるよう頑張ります。

## お盆診療のお知らせ

8月13日(月)、14日(火)、15日(水)は通常どおり診療いたします。お盆休みはございません。

診療予約専用電話 097-545-4890

がん患者さんやそのご家族、介護援助者の方々の交流会です。一般の方もご自由にご参加ください。

## リレー・フォー・ライフ大分サロンのご案内

毎月第2日曜日 午前10:00~12:00

当院の1階多目的ホールで開催しています。

主催 リレー・フォー・ライフ・ジャパン大分 会費は不要です。

## 医療法人 大分記念病院

## 基本理念

1. 私達は法人各施設・各部門が協力して、患者中心のチーム医療と利用者中心のチームケアを実践することにより患者及び利用者の満足度と幸福に貢献します。
2. 私達は常に診療レベルの向上を図ると共に地域住民の皆様へ安全で良質な医療とケアを提供します。
3. 私達は地域の医療、福祉機関との緊密な連携を保ちながら一般急性期医療および地域包括ケアを実践します。

## 基本方針

1. 専門的医療レベルと医のアートを兼ね備えた全職員による全人的医療を患者の皆様へ提供します。
2. 患者及び利用者の皆様の立場に立って、信頼と安全の確保に全力を尽くします。
3. 患者及び利用者の皆様の満足度を高めるべく、心のこもった医療と介護サービスに努めます。

